

埼玉病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究で検体や情報を利用することを希望しない場合は、研究対象から除外いたしますので、末尾の【問い合わせ先】にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

**【研究課題名】 良性卵巢腫瘍に対する vNOTES 卵巢嚢腫摘出術と腹腔鏡下
卵巢嚢腫摘出術の周術期成績に関する後方視的比較検討**

【研究代表責任者】産婦人科 赤尾愛美

【研究の背景】

近年、婦人科領域では低侵襲手術の発展に伴い、患者負担の軽減を目的とした術式の開発が進められています。vNOTES (transvaginal natural orifice transluminal endoscopic surgery) は腹壁切開を必要としない新しい低侵襲手術として注目されており、術後疼痛の軽減や整容性の向上が期待されています。しかし、本邦における実臨床での成績に関する報告は未だ限られています。

【研究の目的】

本研究では、良性卵巢腫瘍に対する vNOTES 卵巢嚢腫摘出術と従来の腹腔鏡下卵巢嚢腫摘出術の周術期成績を比較し、その有効性および安全性を検討することで、今後の適切な術式選択に役立てることを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2025 年 1 月 1 日から 2030 年 12 月 31 日までに当院で良性卵巢腫瘍に対して vNOTES 卵巢嚢腫摘出術または腹腔鏡下卵巢嚢腫摘出術を施行された患者さん

●研究期間：研究機関の長の許可日から 2031 年 3 月 31 日まで

●利用する試料・情報

試料：なし

- 情報：
- 年齢
 - BMI
 - 経産回数
 - 術前診断
 - 腫瘍径
 - 病理組織診断
 - 術式（vNOTES または腹腔鏡下手術）
 - 手術時間
 - 術中出血量
 - PCA 使用の有無
 - 神経ブロック施行の有無
 - 術後鎮痛薬使用回数
 - 術中・術後合併症
 - 術後在院日数
 - その他研究に必要な診療情報

【研究組織】

独立行政法人国立病院機構埼玉病院 産婦人科

研究代表責任者 赤尾 愛美

研究分担者 樋野 牧子

研究分担者 世良 亜紗子

研究分担者 藤岡 陽子

【試料・情報の管理】

本研究では既存の診療情報のみを利用します。研究対象者ごとに研究用識別番号を付与し、個人を特定できる情報を削除したうえで解析を行います。対応表は研究責任者が厳重に管理し、第三者へ提供することはありません。研究成果は学会発表および論文等で公表する場合がありますが、個人が特定されることはありません。

【問い合わせ先】

国立病院機構埼玉病院
産婦人科 赤尾 愛美
電話 048-462-1101